

Rd.4,5,6 SUGO Race Report

2023 June 17-18th

SUGO



SEITA NONAKA

SUPER
FORMULA
LIGHTS



Helmet



SPONSORS

有限会社 坂下組

HIRANO TIRE

ASURA

OSUSO

CUBE
CONSTRUCTION
TOTAL SYSTEM

ピアカリーニング
Quality, Value, Ecology & Smile
コインランドリー

Final Lap

AUTISTA
RACING EQUIPMENT

air-J

LANDMASTER

KDCC
KOBAYASHI
DENTAL CLINIC

AUTOBACS
東浦和店

9999

インパイヤ自動車株式会社

Arai
HELMET

SEV

Tijo

NAKANE
CHIROPRACTIC

EXGEL
Motorsports

SK MOTOR&



苦しいレースが続く中 見えた復調の兆し

Practice

DRY→WET

開幕戦で見てきた方向性をベースにレースインターバル中にチームとのミーティングを重ね、セッティングを変更して今大会に持ち込んだ。ハンコックタイヤに変わったことへの合わせこみを意識して変更させた。

木曜の1セッション目はドライで走行したが、すぐに雨足が強くなり、その後木金と2日間にわたってwetでの走行となった。

タイムこそ速くないもののフィーリング的にはポジティブな部分があり、前後バランス

があまり良くなかったため、そこさえ合わせこみが出来ればタイムの向上が見込めるという様に考えていた。

Qualify

DRY / Q1:8位 Q2:7位

短い練習走行でのデータを基にセットアップをして予選に挑んだ。練習走行から路面温度が大きく上がっていたため、マシンバランスが大きく変化してしまい結果としてオーバーステアが強いマシンに

なってしまった。Q1,Q2ともにタイムが全く伸びず、抜きにくいコース特性のSUGOで後方のグリッドとなってしまった。似たセットアップをしていたチームメイトの古谷選手も下位に沈ん

でしまった。予選終了後に、調子が良かった平良選手のセットアップを共有してもらい決勝に向けて大きくセッティング変更を行った。



Race 1

DRY / 6位

スタートのけりだしがよくな
く1台にパスされるが、その
後4コーナーで前方がクラッ
シュし6位で1周目終了。
クラッシュの影響でセーフテ
ィーカーが長い間入った。

予選1

Pos.	No.	Name	Car Name	Time
1	1	平良 響	モビリティ中京 TOM'S 320	1'14.680
2	53	イゴール・オオムラ・フラガ	FANATEC with B-MAX	1'14.797
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
8	35	野中 誠太	PONOS Racing TOM'S	1'15.632

予選2

Pos.	No.	Name	Car Name	Time
1	1	平良 響	モビリティ中京 TOM'S 320	1'14.418
2	50	木村 偉織	HFDP WITH B-MAX	1'14.488
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
9	35	野中 誠太	PONOS Racing TOM'S	1'15.495

決勝Round, 1

Pos.	No.	Name	Car Name	Gap
1	52	平良 響	モビリティ中京 TOM'S 320	
2	37	イゴール・オオムラ・フラガ	FANATEC with B-MAX	3.367
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
6	35	野中 誠太	PONOS Racing TOM'S	8.222

再スタート時にポジションア
ップを狙いタイヤを冷やさな
いように意識したがオーバ
テイクには至らず。
そのまま順位変動なく終盤
に。セット変更した車両に

走りをアジャストしきれ
ず、かつオーバーステア傾
向が残っていたためペー
スを上げられないままチェ
ッカーフラッグを受けるこ
ととなった。



Race2

DRY / 9位

Race3に向けて新品タイヤを温存したため、Race1で使用した中古タイヤで出走。予選、Race1でオーバーステアだった影響でリアタイヤの摩耗が激しく苦しいレース展開が予想された。

スタートは無難に決めたものの、その後の展開は予想通り前方車両についていけない苦しい状況となった。レース中盤、前の集団でバトルが起きてポジションアップを狙う機会を得たものの、

コースにとどまるのが精一杯でオーバーテイクすることはできず、スタートのポジションから変化のない9位でチェッカーとなった。

Race3

DRY / 4位

ここまでのセッションで得たデータを基にセットを変更。前後バランスが大幅に改善し、序盤からかなりいいペースで走行。スタートからオーバーテイクを重ね、自力で4位までポジションアップ。

その後ペースがよく、トップ集団を追いかける形で周回数を重ねていった。トップの選手がトラブルで減速し、それを機に前方との差が詰まり1コーナーでアウトから仕掛けた。しかしここで

スピンを喫してまう。後続車との差が開いていたため、大きくポジションを落とすことはなかった。ファステストラップを獲得したものの表彰台を逃す結果となった。





RESULT

決勝Round.2

Pos.	No.	Name	Car Name	Gap
1	1	平良 響	モビリティ中京 TOM'S 320	
2	50	木村 偉織	HFDP WITH B-MAX	0.764
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
9	35	野中 誠太	PONOS Racing TOM'S	13.774

決勝Round,3

Pos.	No.	Name	Car Name	Gap
1	52	イゴール・オオムラ・フラガ	FANATEC with B-MAX	
2	37	エンツォ・トゥルーリ	モビリティ中京TOM'S 320	1.265
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
4	35	野中 誠太	PONOS Racing TOM'S	6.765

スポンサーの皆様へ

今回も多大なる応援ありがとうございました。

予選ではオーポリに続きセッティングを合わせこむことが出来ず、下位に沈んでしまいましたが、最終セッションのRace3では良いフィーリングでポジティブに終わることが出来ました。

2大会ともに練習走行でのドライの走行時

間を確保できず、十分なテストが出来なかったことで不調が続いてしまいました。

すぐに次回鈴鹿大がやってくるためチームとのミーティングを重ね、自分自身後悔のない準備をしていきたいと思えます。残り4大会12戦残っているため取り返していけるよう頑張ります。